



会 報

やまぐち

No. 49

平成4年

1

月発行

山口県土地家屋調査士会

新年のご挨拶

山口地方法務局長 横本 欣一

平成4年の新春を迎え、山口県土地家屋調査士会の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、本年もまたよりよき充実発展の年となりますようお祈り申し上げます。

昨年、国際的には湾岸戦争に明けソビエト連邦の解体に暮れるという世界史上に残る大きな事件が相ついで起り、また、国内的にはいわゆるバブル経済が破綻し、社会・経済に大きな波紋を投じ、証券業界を始めとした金融業界の不祥事が相つぎ、信用第一を旨とする業界の姿勢が厳しく指弾されました。

このように、政治・社会・経済情勢の変化は、昨年一年を振り返ってみただけでも目を見張るものがありますが、こうした状況の中にあって、山口局の登記事件の動向をみてみますと、甲号事件、乙号事件ともほぼ横ばいで推移し大きな変化はありませんでした。しかし、制度発足6年目を迎えた登記特別会計は、これまでの順調な収入の伸びが鈍化し、昨年4月の手数料単価アップに見合うだけの収入が見込めなくなり、コンピュータ化計画を始めとする登記行政への影響が懸念されてきております。

私どもとしましては、自分たちの手で実現可能なものは努力しようということで、閲覧の適正化を図る方策を打ち出し

た次第ですが、調査士の皆様におかれても格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、昨年4月に当局に着任しましていろいろな機会を通して調査士会の皆様と接して参りましたが、大変活気に満ち溢れているということを感じております。昨年12月には懸案の報酬規定が近代的なものに改正され、また、平均年令30歳台の若い新入会員が10名近く入会されるなどますます充実した会になられることでしょう。貴会及び司法書士会と法務局の三者が、お互いに切磋琢磨し、国民に信頼される登記行政を展開していかなければと考えております。

この会報が発行されます頃には、待望の山口局バックアップセンターの新営予算が実現しているものと思われませんが、そうなりますと、山口局のコンピュータ化計画もいよいよ身近なものになってまいります。私どもは総力を挙げてコンピュータ化への諸準備に万端怠りないよう取り組む必要がありますが、貴会の皆様の一層のご支援をお願い申し上げる次第です。

本年も、皆様方が健康でご活躍され、ますます充実した年となりますよう心からお祈り申し上げます。

会長あいさつ

会長 新本 清人

謹しんで新年の御慶びを申し上げます。

いつの年でも年の暮がよければ又来る新年も良しとの古老の言に改めて今朝の喜びを知りました。山口県土地家屋調査士会も昨年同様良い年であります様にと神社仏閣に詣でて祈願したのは豈我一人ならんと清々しい気分になり心洗われるの感に打たれました。去年今年貫く棒の如きものと言われ、力強く太い棒の様な充実した毎日は去年から今年へと一貫して継続すると信じられて居ります。省みますと昨年の世界は大きく変動し想像も及ばぬ重大ニュースはゴウゴウと音を立て、通り過ぎたの感がいたしました。正月早々には湾岸戦争が始り、かつてアメリカと共に世界を二分する勢力を誇ったソビエト連邦も昨年末には69年の歴史の幕をとぎしました。一方、国内にあってはバブルも経済91の声に明け暮れ、ニュースの言葉を借りればバブル経済とは資産の水膨れ的な膨張によって生ずる経済現象を指すと言われる。そんな中であって山口県土地家屋調査士会員 263 名はこ

の経済的成長の影響を受けることもなく新しい世代に向かってしっかりと生きて行きたいものだと思います。絶えず倫理綱領を体し真に国民より期待される調査士会員でありたい。

昨年は抜本的体系変更に伴う報酬改訂による研修会を数次に亘って開催し概ねその成果は評価出来ると反省しているところであります。又、新しく調査士試験に合格した若い入会予備軍 8 名に期待をよせながら法務省の着々と進めて居られる登記のコンピューター化に呼応して充分業務を行い得る態勢を各会員各々が設備や内容の充実に努力を強いられるものと思います。

今、山口会々員年令について申し上げますと、平均年令 52.71 才、20 才代から 60 才まで 167 人会員数の 64%、61 才以上の会員 96 人で 36% であります。若いも若きも力を合せて 21 世紀への足場を強く築き、目的に向かって元気よく邁進したいと年頭に当り決心した処でございます。

平成 4 年 元旦

新年のごあいさつ

秘書・広報担当副会長

兼 川 良 介

山口県土地家屋調査士会の会員の皆様
平成4年壬申の新春を迎えられ、先もつて//明けましておめでとうございます//

昨年、世界においては数々の大きな変革の出来事が発生し、一方、国内においては、バブル経済の引金となった、不動産向融資の総量規制、雲仙普賢岳の噴火、大型台風の上陸等、さまざまな事が数多く発生致しました。特に総量規制は国家予算収入を減少させ、同時に国民の設備投資意欲を減退させるに至り、我々業務も当然の事ながら減少のやむなきに終わりましたが、幸い昨年12月1日をもって報酬の改定が日調連の御配慮の基、抜本的に改定され、付則を整理して載き、報酬計算が容易となり、取忘れの防止に役立ち、報酬運用の適正化が計り易くなりました。今年は国家予算の少い中であって、公共投資は内需拡大と景気に配慮され、比較的良好な伸率で組まれ、明るい年である様に思えます。今年も皆様にとって良い年でありますことを願い、合せて、御健康を祈り新年のごあいさつと致します。

副会長

竹 内 重 信

明けましてお目出度うございます。さわやかな新春を迎え、本年が皆様にとりまして幸せ多い年でありますよう心からお祈りいたします。

さて、私の担当いたします厚生部・経理部の活動につきましては、昨年2回の理事会を開き、経理部におきましては今年度上半期の監査を受け、厚生部におきましては今年度事業の基本活動の確認、行事の日程を決定した所であります。

その結果、新年に入り暫らく休んでいた会員親睦大会を再開することとし、久しぶりにボウリング大会を小郡町で開催することを決定、各支部から5名以上の参加者を募り支部対抗戦を行ないます。

その後の事業としては、過日皆様からのアンケート調査の集計をもとにして、各種趣味の会づくり、慰安旅行の企画等で、仕事を離れたふれあいの中から、同志がお互い理解しあい、また喜びを分かちあえる仲間づくり、新しい感動づくりを求めてまいります。

今年も頑張っております。よろしく
お願い申し上げます。

ご 挨拶

副会長 高 田 吉 雄

平成4年の新春を迎えるにあたり、紙上より年頭のご挨拶を申し上げるとともに平素の会務に対する会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。昨年11月末に私共の悲願でありました報酬額の体系改正が、民事局並びに連合会のご尽力により認可されました。それに伴い報酬額運用の本部研修会を企画部により4会場で行いました。年末の多忙な事件処理時期と重なり、研修を行う方も受ける方も、ご負担をおかけしたと思いますが、何とでも我々の経済的基盤である報酬改正ですから、会員の皆様全員が一刻も早くご理解いただき、充分適正運用が為され

る事が第一と考えます。本部研修では時間の制約等で十分な説明が行き届かなかったかと思いますが、これからの支部研修会等で十分な説明を受けられ、今まで日額運用等で国民に対し説明出来にくかった所が明確にされた新報酬体系ですから、各地区の会員の皆さん全員が一律運用出来ますよう、同一地区で報酬に関する凸凹等で依頼者の不信感を招く事のないよう充分ご理解いただきたいと思います。今年一年間は企画部もこの事をメインに置いて体制を整えてゆく所存であります。何とぞよろしくお願い申し上げます。



山口県土地家屋調査士会臨時総会議事録

日 時	平成3年10月23日(水)午前11時開会		
場 所	山口市駅通り2丁目9番15号 山口県司調会館		
出席者	会員総数	263名	
	出席会員	25名	
	委任状による出席会員	207名	
	出席会員合計	232名	

議事の経過の要領及びその結果

- 1 副会長・乗川良介が司会を担当し、開会を宣言する。
- 2 会長挨拶(省略)
- 3 議 長 選 出

司会者より議長の選出方法について議場に諮ったところ、司会者に一任されたため、司会者は議長に次のものを指名した。

徳山支部 宮崎晴雄

議長は登壇し、就任の挨拶のうえ出席者数について、上記のとおり報告を行った。

- 4 議事録署名者選出

議長は議事録署名者の選出方法について議場に諮ったところ、議長に一任されたため次のものを指名した。

綿谷 脩 会員
増 満 増 郎 会員

- 5 議 案 審 議

会則一部変更に関する件

議長は審議に入る前に、本案については会則により特別決議を要件とする旨説明し、先に報告のとおりその要件を満たしているため、本総会は適法に成立している旨宣した。

高田吉雄副会長から提案理由について説明がなされ、若干の質疑応答を行った。議長は採決に入る前に、本案の趣旨に変更をきたさない範囲において字句の修正等については会長に一任願いたい旨付言して賛成者の挙手を求めたところ、会則の特別決議の要件を満たす数の賛成を得て可決、承認された。

ここで、本臨時総会の議案審議を終了したため、議長は出席者に対し礼を述べ降壇した。

平成3年度証紙貼付状況結果報告

(平成3年10月調べ)

	調査士申請		本人申請		司法書士申請		嘱託申請		調査結果			嘱託申請								
	土地	建物	土地	建物	土地	建物	土地	建物	イ	ロ	ハ	①	②	③	④	⑤				
																	土地	建物		
岩国	81	112	1	0	0	0	108	15	190	27	0	0	1	0	0	35	0	0	0	88
柳井	52	65	0	0	0	0	209	0	251	65	0	0	0	0	0	146	0	0	0	63
周東	39	18	2	0	1	0	119	9	161	27	0	0	2	1	0	9	0	0	0	119
錦	4	0	1	0	0	0	133	0	138	0	1	0	1	0	0	97	0	0	0	36
久賀	19	27	1	2	0	0	262	2	282	31	0	0	3	0	0	83	0	0	0	181
徳山	66	95	2	1	0	0	64	0	132	96	3	0	3	0	0	22	16	11	0	15
光	55	65	1	3	0	0	119	1	175	69	4	0	4	0	0	65	1	16	0	38
新南陽	114	51	0	4	0	0	73	0	187	55	0	0	4	0	0	1	0	0	0	72
防府	108	118	3	1	0	0	169	1	280	120	0	0	4	0	0	12	0	0	0	158
山口	213	182	2	5	0	0	207	0	422	187	10	1	7	0	0	39	1	0	4	163
美弥	30	17	0	0	0	0	256	0	286	17	1	0	0	0	0	10	39	0	0	207
阿東	12	11	0	0	0	0	109	0	121	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109
萩	56	40	3	0	0	0	175	1	234	41	0	0	3	0	0	2	37	0	0	137
長門	41	32	2	0	0	0	156	1	199	33	0	0	2	0	0	0	47	0	0	110
須佐	7	6	0	1	3	0	171	0	181	7	0	0	1	3	0	0	12	0	0	162
宇部	208	199	3	3	0	1	257	4	458	207	3	0	6	0	0	13	0	0	0	248
小野田	51	44	0	0	0	0	27	0	78	44	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0
山陽	12	12	1	0	0	0	70	0	83	12	0	0	1	0	0	53	0	2	0	15
下関	208	308	2	1	0	0	251	4	461	313	0	1	3	0	0	11	18	0	0	226
豊田	11	18	2	2	0	0	69	0	82	20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	69
豊北	3	2	0	0	0	0	72	0	75	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72
計	1,390	1,422	26	23	4	1	3,076	38	4,496	1,484	22	2	45	4	4	625	172	29	4	2,288
(2年)	1,333	1,582	38	12	15	0	2,759	51	4,145	1,645	27	2	39	15	32	778	170	32	0	1,802

調査結果 1 イ、証紙貼付もれ、ロ、申請書補正状況
 2 個人申請及び非調査士と思われるもの
 3 司法書士の取扱い表示申請

嘱託申請 ① 協会社員で委任状のあるもの
 ② 協会社員でないもの
 ③ 社員外の調査士で委任状のあるもの
 ④ 社員外の調査士でないもの
 ⑤ その他の嘱託申請

土地家屋調査士試験合格者名簿

受験番号	氏名	生年月日	住所
5006	井上和夫	昭31.4.16	山口県宇部市大字小串803番地の3
5007	川口寛司	昭25.7.18	山口県山口市中市町5番20号
5018	馬場直司	昭26.1.3	福岡県大牟田市上白川町1丁目59番地
5029	吉岡弘治	昭21.10.23	山口県宇部市川上南側
5035	富永弘	昭33.2.25	山口県徳山市大字櫛ヶ浜153番地
5052	無敵良和	昭38.10.7	山口県下関市幡生宮の下町9番18号
5055	若林功	昭30.5.21	山口県宇部市上宇部山門1492
5109	福田裕之	昭32.9.19	山口県山口市大字大内矢田626番地の6

—公嘱協だより—

業績好調!

平成3年度も丁度半ば、西日本旅客鉄道・日本貨物鉄道・国鉄清算事業団（以下JR関連という。）から発注の成果品納入のピークを迎え、担当社員各位は、日夜あわただしい日を過ごされたと思います。

ふりかえって昭和61年度からの業績をみてみますと、毎年倍増となっています。特に、平成2年度の受託金額は4億円を超え、金額、伸び率ともに大幅な伸展をみました。平成3年度は、ひきつづきJR関連が好調で、12月末現在の受託金額は4億3百万円となっています。これからは、国・県・市町村（以下国・県等という。）が年度末を控え、計画総仕上げの時期に入りますのでこれら受注の拡大に鋭意努力したいものです。

平成4年度は、新幹線用地の境界確定、境界標建植、測量や同施設建物の登記などが予定され、相当量のJR関連業務が見込まれます。

一方、これら業務にたづさわる社員数は設立当初116名から出発し、平成2年度末で150名、本年12月末で154名と順調に増えてきております。

平成元年度からの業績および社員数は、次のとおりとなっています。

（坂本記）

業績および社員数

- 平成元年度（平成元年7.1～2.6.30）
受託金額 222,924千円
うちJR関連 163,164千円
〃 国・県等 59,760千円
社員数 139名
- 平成2年度（2.7.1～3.6.30）
受託金額 413,895千円
（対前年比186%）
うちJR関連 323,003千円
（対前年比198%）
〃 国・県等 90,892千円
（対前年比152%）
社員数 150名
- 平成3年度（平成3年12月31日現在）
受託金額 403,000千円
うちJR関連 375,200千円
〃 国・県等 27,800千円
社員数 154名

第34回 中国ブロック協議会

定例総会が平成3年9月18日～20日に米子市、智生グランドホテルに於て開催された。

物故会員に対する黙祷、広島法務局長表彰、中国ブロック協議会長表彰の後、

1. 中国ブロック協議会のあり方について
2. 登記基準点の設置、管理及び運営に関する具体的方策について
3. 調査士の品位保持の確立について

4. (イ) 司法書士が行う地目変更申請について

(ロ) 工事完了引渡証明書について

(ハ) 非調査士の申請の調査について

5. (イ) 境界権限の統一促進について

(ロ) 合同事務所設置と運営及び協議事務の取扱い

上記の協議事項について熱心に討議され、次回山口会の引受けで行うことを決定し閉会した。



企画部・支部企画委員会会議

平成3年8月10日(土) 於 司調会館
午後1時30分開会 4時30分閉会

出席者 新本清人会長 高田吉雄副会長

企画部 部長 瀬口 潤二
副部長 山根 勇
部員 水津久太郎
部員 西本 聡士

支部企画委員

岩国	浜田 年一	大森 正秀
徳山	山本 紀夫	奥西 貴彦
防府	三刀屋康之	福原 嘉幸
山口	河村 清	桑原 亮
萩	藤津 浩	伊藤 正典
宇部	高杉千河生	上原 英治
下関	下野 洋二	宮崎 幸三

協議事項

1. 平成2年度支部研修結果報告

別紙の通り発表があったが、各企画委員から各地区の国土調査の実施の実態について意見交換の提案があり、各支部の実情が話し合われた。

数値方式による地籍調査も実施されはじめこれに対応する対策の必要性が述べられた。

各支部とも、支部会員の親睦をはかるため旅行や、宿泊による研修会が実施されている。

2. 平成3年度支部研修計画

岩国、防府、山口、萩の4支部についてすでに別紙のとおり計画が発表されている。他の支部については、各企画委員の持っている私案が発表された。

徳山支部 報酬に関するもの
法務局との協議会
図根点の復元作業

宇部支部 ハイテク技術の見学(測量展など)

県土木事務所との協議会

報酬に関するもの

下関支部 報酬に関するもの

下関市内の史蹟めぐり

このあと、基線場についてのアプローチの必要性が認識されており、日常の業務にたいする慎重な体制作りの必要性が発表された。

3. 境界線の統一と普及推進について

前年度、企画部で提案しメーカーに協力を仰いだ境界線のモデルが作られていることは、過日の定時総会で発表済みであるが、この販売ルートなどの確立を計り、全部の会員が、これを使用する方法について意見の交換をおこなった。

メーカーとの関係もあるが、当面は、各支部の企画委員が中心となって境界線のモデルの使用をし、ひろめること、あるいは、各支部にて販売ルートなどの確立を計るための案を本部企画部とともに考えてみようということになった。

また、現在、境界線のモデルの見本を下敷きのような形で作るようメーカーにお願している旨の経過報告が副会長より発表された。

4. その他

本会に対する要望を含め意見の交換をおこなった。最も多かった意見は、土木事務所の対応に対するもので、国民の側に立った解りやすい事務処理を望む意見が大半をしめた。

報酬の計算方法の取り扱いについても意見があったが、この秋以降の報酬額の体系の変更の内容をみて、企画委員のかたとともに勉強しなければならないので、この日の協議事項は秋以降の課題とした。

他の調査士の言われ無き中傷にたいして、いま少しモラルの確立が必要であるとの意見もあり、本部での対応ができるよう要望された。

平成2年度支部研修実施状況及び平成3年度計画

平成3年8月10日課

支部	項目	第1回	第2回	第3回	平成3年度計画
岩国支部	日時 内容 人員 費用	2.4.21(土) ○光成測距器の点検及び他器との比較 12名、補1名 0円			第1回 ○便利な偏心補正 ○電子測量手帳の利用法、健康体操 ○大島郡久賀町嵩山登山 第2回 ○基線場(広島工大)にて検測 ○鞆小旅行 第3回 ○講演を聞く(講師・テーマは未定) ○ハイスピード多角測量 (地積回復元の為)
徳山支部	日時 内容 人員 費用	2.6.7(木) ○基準点設置地区の表示登記事務 24名、補2名 920円	2.10.5(金) ○法務局との合同協議会 29名 133,506円	3.3.16(土) ○不動産表示登記の事務上の沿革並びに表示登記における留意点	事務研修(本部が終って) 事務局と協議会 図根無の復元(11月頃)
防府支部	日時 内容 人員 費用	2.9.8~9(土~日) ○地籍調査による官地の付替が行われている土地の諸問題と対策 12名 250,555円	3.3.9(土) ○中・高年の健康管理 ○調査士業務における諸問題 18名 164,930円		9月7日 ○不動産登記に関する諸問題と対策及び情報交換 11月 ○不動産登記に係る税務研修 平成4年3月 ○宿泊研修会、先進地視察(広島法務局)
山口支部	日時 内容 人員 費用	2.7.21~22(土~日) ○測量器械の点検、報酬の研修会 16名、補5名 242,718円	2.11.23~24(金~土) ○司課合同親睦旅行(熊本) 8名、補4名、他20名 1,014,953円		9月上旬 ○司課合同研修旅行(福岡) 10月下旬 ○税務研修会 平成2年 ○報酬研修会
萩支部	日時 内容 人員 費用	2.7.14(土) ○三者親睦球技会 10名、補5名、他33名 229,344円	2.12.1~2(土~日) ○親睦旅行(熊本) 11名、補5名 521,000円	3.3.16~17(土~日) ○地籍調査実施区域における面積計算の照合	○基線場設置(50m)萩・長門各1カ所 ○税務、境界紛争について(事務研修) ○親睦球技会(法務局、他支部との交流)
宇部支部	日時 内容 人員 費用	2.8.25~26(土~日) ○国測地域における復元測量 21名 283,408円	3.3.16(土) ○改定報酬額算出明細書の運用方法		○測量展の見学
下関支部	日時 内容 人員 費用	2.7.21(土) ○土地建物税務研修 24名、補5名 85,611円	2.9.29(土) ○既存地積測量図に基づく境界点復元作業 24名、補10名 385,756円	3.3.16(土) ○調査士の業務関連法務について	○史跡めぐり(司課合同)

報酬改訂について

企画部長 瀬口潤二

今回の報酬改訂は、大変大きな体系の変更をともなったものです。私達企画部は、本年12月1日施行という限られた時間の中で、新報酬体系の説明会を開催せざるをえませんでした。11月29日萩、11月30日徳山、12月1日山口、そして、12月8日山口と、四つの会場で、連続して開催致しました。萩会場は、平日に都合の良い会員を対象とし、土曜日、日曜日と都合の良い会員のために徳山会場、山口会場を用意し、全ての会員が説明会に出席できる様に準備したつもりではありますが。限られた時間の中で、萩、徳山の

会員の皆様には、会場の設営から跡かたづけ等御迷惑をおかけいたしました。御協力に感謝いたします。

また、下関、宇部、防府、岩国の各支部の会員の皆様は、場所の設定に御不満が残ったかと思いますが、御了承下さい。

約5時間に渡る説明会でしたが、最後まで、聴講していただいたことに感謝するとともに、今後、この報酬体系に基づいた業務が遂行されることを祈っております。聴講された皆様方、お疲れ様でした。

法務局からの協力依頼について

登 第 561 号
平成3年12月16日

山口県土地家屋調査士会長 殿

山口地方法務局首席登記官

登記簿等の閲覧に関する改善方法の試行について（協力依頼）

日ごろ、当局の登記行政に関し、種々御協力を賜り感謝いたしております。

さて、標記については、平成3年10月23日に開催された三者協議会の席上において、当職から説明したところでありますが、平成4年1月4日から管内全庁において、登記簿等の閲覧に際しては「しおり」を挿入する方法を試行することとなりましたので、御協力を賜りますとともに貴会員への周知方をお願いします。

支部長だより

支部長会開催される

日時 平成3年9月13日(金)
午後3時より
平成3年9月14日(土)
午前12時まで
会場 防府グランドホテル

本年は会場を防府グランドホテルに移し新本会長をはじめとし3名の副会長の臨席をいただき支部長会が開催されました。

初日の13日には各支部より出されました協議問題の協議、情報交換が行われ2日目も引き続き、情報交換、本部からの連絡事項、要望、御意見を頂戴いたしまして2日間に亘る会議を終了いたしました。主な会議の内容は次のとおりです。

支部交付金について

- (1) 現在支部交付金は各支部の事情により、受口座が郵便局とか銀行とかがありますが銀行一本に統一したらどうか。理由として郵便局の場合口座への振替が必要で手間がかかるのと事務局も郵便局と銀行の双方に行かなくて済み省力化する。
- (2) 支部交付金の算出を年度当初の各支部会員数により算出し、年度途中においては変更しない。又交付する時期、

支部長会議長 宮崎 晴雄

方法は現在各会員が会費を納入して金額の割合に応じて交付されているものを四半期毎か三半期毎に分けて交付するようにしたらどうか。

支部規則について

現在支部規則は県下おおむね統一されてはいるものの慶弔規程、旅費規程等なお各支部の事情により異なるため。

会費の納入方法について

会費の納入について自動引落しを採用したらどうか

物品の斡旋について

広報活動の一環として物品の斡旋をしたらどうか

補助者制度の確立について

補助者制度の確立を急いで欲しい



日光・浅草観音駆け巡り

防府支部 林 俊 男

10月12、13日慣例の土地家屋調査士会及び司法書士会防府支部合同観遊旅行として今年は、日光鬼怒川、浅草観音の旅に出かけました。当日の関東一円は天候には恵まれませんでした。我々の行く先々では、不思議とさほど気にすることなく観光ができました。又参加者も、当初は、25名程度を予想していたのですが、いろいろな行事が続く中、18名の皆様に参加していただきました。行程といたしましては、11日(金)17時51分防府発の寝台車で出発し、13日(日)22時防府着で帰

るというハードなスケジュールでしたが、東京駅から日光経由浅草、東京駅と、ずっと同じバスツアーでしたので、日程の割には疲労は残りませんでした。写真は、途中の浅草観音でのスナップです。12日(土)の宿は鬼怒川温泉、温泉の湯船につかると、日常の仕事、納期等々の事も忘れ心身共にリフレッシュし、明日への活力が湧いてくる感じがしました。我々業界の戦士、防府にて待ち構える仕事に立向うべく、日光鬼怒川、浅草観音を後にしました。



山口県司法書士会防府支部山口県土地家屋調査士会防府支部 様 10月13日 於、浅草観音

支部だより

徳山支部長 宮崎晴雄

徳山支部親睦旅行実施

「宝塚・有馬温泉・神戸」1泊2日の旅

出発 平成3年11月16日(土)

帰着 11月17日(日)

徳山支部においては毎年親睦旅行をしています。実施するについての幹事の最大の悩みは、参加人員の少ないことと経費、目的地の選定である。それらの問題を解決するために、今年は調査士会、司法書士会それに地元の団体登記和会の三会で合同旅行にしたらとの意見が出されました。三会の主催であれば、参加者

の確保ができ、各会が費用を持ち寄ることによって経費が安くつき、参加人員と経費の問題が一気に解決です。

早速実行いたしましたところ男子19名女子12名計31名が参加いたしました。

参加者が多かったのは、旅行先の「宝塚歌劇」有馬温泉泊「神戸」が良かったようでした。

特に皆さんに喜んでいただいたのは、宝塚星組公演の歌劇「紫禁城の落日」で老いも若きもゾカガール、レビューの美しき、フォーレのこれでもかこれでもかの見せ場に感激、堪能をされたようでした。



岩国支部だより

岩国支部 浦 井 義 明

家電業界用語に「早とちり 3000 人」という言葉があるそうだ。新製品が発売されると、すぐとびついて買う人々のことを指しており、日本ではその人数が 3000 人位になるらしい。メーカーは、マニアというべきか、それらの人の使用後の苦情、要望等のデータをもとに製品に改良を加えて機能を向上させ、なおかつ低価格の製品を市場に出している。

さて、岩国支部では昨年（平成 3 年）GPS のビデオを研修会の教材として購入し、会員に個人的にも貸し出すなど、ナビゲーションシステムに対する関心がにわかになかまってきている。

日本製ではソニーが 16 万円のレーザー用 GPS を売り出しているが、光波測距儀でもみられたように、GPS への信頼性と購入手ごろな価格の見極めは難しそうだ。当支部ではだれが「早とちり 3000 人」になるか甚ぞ持ちきりである。

地球がおもしろくなる アウトドア・ギア

株式会社 SONY 株式会社
〒100-8555 東京都千代田区千代田 1-7-1
TEL: 03-5561-3131 FAX: 03-5561-3132
E-MAIL: sony@sony.com

GPS (Global Positioning System) は、衛星からの電波を受信して、現在地を正確に把握するシステムです。従来の地図やコンパスに比べて、非常に高精度で、しかも、場所を記憶したり、ルート検索したり、音声案内したり、地図を拡大縮小したり、高度情報や地形情報も表示したり、さまざまな機能を搭載した GPS 装置が、アウトドア愛好者や旅行者の間で人気を博しています。

※本誌掲載の製品は、必ずしも最新型ではありません。



※本誌掲載の製品は、必ずしも最新型ではありません。

萩支部の近況

萩支部 三好 一 敏

萩支部の舵取り役を引受けて、早や6カ月が過ぎようとしている。本部役員からの転身で、未だ要領を得ていない。引受け時22名の会員が1名死亡、1名退会により、20名になっている。

過疎化が、バブル崩壊が、我小支部の活力を削いでいる。30代1名、40代10名、50代2名、60代4名、70代3名の構成で、半分の10名が業務歴20年以上、7名が業務歴10年以上、のベテラン

が揃っている。

体系変更に伴う報酬額改定が12月1日からなされ、実質的には平成4年から新しい報酬額の運用がされるが、北浦の一角で、標準的な報酬額に移行できるまでにかかなりの紆余曲折が予想される。平均給与水準が県下で最も低い萩、長門地区のレベルを、調査士会にあっても同じであってはならないと考えている。

支部だより

宇部支部 鷺 巻 栄 一

6月の支部総会以来今日迄、忙しさにかこづけ研修会を開催していない中で10月25日会員及び補助者とでボーリング大会を行いました。

ボーリング場内もコンピュータ化されていて得点が自動的に計算、得点表、投球スピード値、ピンがたおれる様子等がテレビに写し出され昔に比べると非常に進歩したなあと感心させられました。特に成績順位等の集計事務を全部行ってもらい大変楽しくなったものであります。新会員も増え会員同士はもちろん他の串

務所の補助者を知り合う場として皆さんが一同に会するにはボーリング場もコミュニケーションを図るには手軽で良いと思う。

私どもの業務に色々と機械器具が導入されデーター情報交換がこれから先ヒンパンに行なわれるのではないかと思われ、この点からも会員の親睦を深める一方法として遊び心を持った会を機会ある毎に開催したいものであります。

尚、本大会は申込41名、参加者37名でありました。

釜山の楽しみ方

下関支部 柴田靖治

公共囑託協会会員諸兄には、JR101の釜山旅行を御一緒させて頂きましたが、充分な御案内が出来無かった反省と今回の体験を糧に次の旅行を楽しまれることを願って本稿をしたためました。

下関からは、隣の町でして、毎夕5時に関釜フェリーの出航する汽笛を法務局で聞くと、特に近親感を覚えますし、ジェット・ライナーの就航で釜山が一層近く成りました。

飛行機便で訪釜された場合、金海空港から釜山市内まで相当の距離が有り、酷い交通渋滞に遭遇することが多く、タクシー代を何倍も払わされる等、始ったばかりの旅行で不愉快な思いをすることが多いので、釜山を訪ねるのには、是非船便を御勧めします。

ホテルは、フェリー・ポートの近くを選べば便利ですし、歩いて釜山の街を散策することが出来ます。

ただ、大勢の団体は、海雲台以外では宿泊出来ません。

以上が、釜山を楽しむ為の基本であります。

日程と季節によって楽しみ方が異なって来ますが、釜山でぜひ行って戴き度い

のは、国際市場とチャガルチ市場であります。

いささか陰りが出たとは言え、韓国経済のバイタリティを肌を感じられるのは、各種の屋台が並ぶ夕刻の国際市場であります。

ただ、余りにも多くの人々が行き交うので迷い子に成らないようガイドして貰う方が無難ではありますが……

チャガルチ市場は、周辺の町を含め約500万人の人々の食料と日用品を賄う朝の町です。

町の活気がクッパ（韓国風汁飯）の味を一段と引き立てます。

この様に釜山は、数名で気楽に旅行されるのが良いでしょう。

少し足を延せる方には、金剛山公園裏の長城で囲まれた山城村で城門を訪れ、村内の農家で食事をされることを御勧めします。

この村の名物は、黒山羊の焼肉とドングリ料理ですが、私が感激したのは、城内で有機栽培された甘みの有る御飯でした。

以上、釜山と言う街の片鱗を御紹介させて頂いて戴きました。

抜 け 殻 か

岩国支部 渡 瀬 清 治

1 地 図

法務局には地図が備え付けられている。明治の頃から大正、昭和、そして平成へと続く百年の歴史の中でいろいろな地図または地図に準ずる図面が備え付けられている。その中で今日不動産登記法第17条にいう地図は、耕地整理図、区画整理図、地籍図と、法務局作製の本物の17条地図（以下「法17条地図」という。）であろう。

これらの中で新しい報酬体系に沿った仕事がかろうじてできるのは地籍図と法17条地図の2種類であろう。

しかし、この中で法務局に閲覧に行くだけで作業が可能なのは、法17条地図だけである。他の地籍図などはその基準点の成果簿などを関係団体に閲覧収集に行かなければならない。

市町村においては、この基準点成果簿を見せてくれないところもあるし、見せてくれるところもあります。見せてもらえれば、地籍図は復元可能な図面ということになりますが、そうでなければ地籍図も区画整理図や耕地整理図と同じく基

準点成果を入手できませんから、一朝一夕には復元不可能な図面といえるでしょう。

2 作成の経過

地図にはその作成の経過によって、土地の所有権や境界に対する考え方が異なります。つまり、現実の境界を写真に撮ったと同じような考えで作成された地籍図と法17条地図に対し、この格好の土地をこの位置にこの面積だけ割りあててあなたの土地とするという処分に伴ってできた地図があります。耕地整理図や区画整理図がそれにあたります。

地籍図などは一筆調査段階で過誤があったり、図面作成段階の測量ミスや作図ミスが後になって分れば、これは地図訂正の対象になります。

ところが、耕地整理図や区画整理図は、そうはいきません。その図面、その面積で所有権を確定させたわけですから地図に誤りがあったということが認められないことになります。

3 抜け殻

法務局で取り扱う分筆登記に際しては筆界の確認を要件としています。しかし処分に基づいてできた筆の境界は、現地における明確な境界標識と図面上での明確な表示がなければ確認の手立てはかなり不確実性の高いものとなってきます。

区画整理法や耕地整理法では法務局に基準点の成果や境界点の公共座標値を送り込むことを義務付けていないために、法務局に提出された図面は情報量からみて、ほとんどゼロに近い内容しかないこととなります。

昔ながらのアナログデータしか法務局には送り込まれず、送り込みを行った作業機関、実施機関では、基準点成果簿などを一般に閲覧させる根拠となる条文がないために、これを門外秘としその存在さえ認めようとしません。したがって境界の確認にあたっては、明治の頃のいわゆる公図と同じ扱いにならざるを得ません。

結果的に漫画と同じような情報量しかない図面によって処分に基づく筆界が公示される一方、写真を撮るかのごとく作成された図面が基準点の閲覧が可能なことによって復元測量がされて、筆界の維持に貢献をしています。

法務省は言わば逆を行っていると言えないでしょうか。

4 実 例

区画整理がされた地区で民民の境界立会をし、官民の境界立会のために、市役所の担当課に立会を要請したところ、次のようなおもしろいことがありました。

現場にあらかじめ出向き、再度現場を頭に入れるべく周囲を見て回っていたときに、軽四が止まっており中に男が二人乗っていました。横を通り過ぎるときに市の職員の乗った車だと分かり、彼らが広げている図面を覗き見ると、これが区画整理法に基づいて作られた確定測量図でした。

今問題の土地の形状を見るとき、一ヶ所民民界で境界点を表わすマルがほとんど重なっているところが目にとまりました。そしてその横には寸法が0.014と書いてありました。つまり1.4センチの段差があるということです。

そしらぬ顔をして通り過ぎ、現地で待っていますと担当者達が現われました。そのときには確定測量図はしまいこんでいました。そして道路の反対側との距離を測って、境界がどこにあるかを確認しようとしていました。

ところが、道路の全幅員が法務局備え

付けの区画整理図とも20センチ程度違い、道の左右のつながり具合も明らかに違っていました。

つまり、工事が区画整理図（確定測量図）のとおりになされていなかったのです。

通常我々が言う確定測量図は宅地造成が吹き上がった後の構造物やコンクリート杭などを測って作った図面のことで、区画整理においては計算上で決めて現地に展開し、各区画を作るときの図面が確定測量図です。

この図面にしたがって工事がなされて各区画や道路が作られるわけです。このために区画整理区域内においては、工事がまずければ図面と現地が合わないことになります。今そういうことが起ったわけです。

もちろん検査測量が行なわれるでしょうが全部ではなく、抜取検査ですから抜けがあってもつかみきれません。

そして市の職員が悩んでいる間に、14センチの問題の箇所に行ってみるとブロック塀とその下にあるコンクリート杭の十字の交点との間の点間距離が確かに14センチあります。

この部分は現地の形状を測量してそのままを図面にしていたようです。このよ

うに僅かな違いでも辺長が長い場合には面積の差となって現われます。現在の地価にして20万円です。

この14センチは法務局の図面では完璧に分からない量です。隣接地主達もこの差は知りませんでした。つまり、垣間見た確定測量図がなければ、私は筆界を間違えて測量し確認し、分筆などの申請を行うところであったわけです。

一を聞いて十を知るといいますが、このようなことは氷山ほどにもあるはずです。法務局が筆界の確認をうるさくいいながら、実は筆界の確認を正しくする術を提供しないというのは、これは立法時のミスという以外ないと思われれます。このことを是正する法律改正は果していつ頃なされるのでしょうか。

5 余 談

我々の仲間が法務局に提出している分筆図が三斜求積図の場合にもエビの抜け殻をだしていることになります。皆さんはお気づきでしょうか。

エビの中身は誰も味わうことなく過去へ葬り去られているのです。

映画の題名にこんなのがありました。「ばかやろうー」。

原子力発電所心臓部へ突入

徳山支隊 田中 拓 朗

おりしも台風19号の余波がさめやらの昨年10月末、徳山商工会議所青年部のメンバー約30名と島根美保湖原子力発電所を見てまいりました。島根原発は中国電力最大の規模の発電所で、中国地方全域に送電を行なっています。まずは、原子力発電所全体を見回したとき、なんとなくまく入江の地形を利用して作っているなと感じました。海水を冷却水として使い、環境を破壊せず、自然との調和もよくとれていました。

さて本題の原子炉へ突入です。といっても原子炉そのものの中へ入ったわけで

はありませんが、原子炉が設置されている建物の中を見学することができました。全員白衣をまとい、放射能測定器を首にぶらさげた時は、一瞬ドキドキしました。原子炉は想像したよりも大きく、その真上に立つことができたが、二重三重の安全対策がされているのがよくわかり、最後に放射能の測定結果がりと出たときはホッとして建物から出ました。

今後の資源の有限性を考え原子力発電所の存在価値を考える良い研修となりました。



正月ヒゲモジャ紀行

岩国支部 波瀬清治

＝今＝

瀬戸内海を跨ぐ生口島大橋の二本の主搭から出ている沢山のワイヤーが作る造形美は海の上から眺めたとき素晴らしいものである。斜張橋というその造り方は主搭の間の距離が長い場合にどうやって橋をかけるか、苦心の末の造形美であろう。主搭の二箇所からは航路標識にもなるように一定間隔に閃光が光っている。風がかなりきつくなってきた。

今、生口島大橋の南側からこの橋の下へ向って舟を進めている。海の上には2～3杯釣り舟がいるだけで舟の航行は少ない。

今日は正月元旦、9時25分。

いよいよ橋が目の前に迫ってきた。何と大きいことか。目を見張るばかりである。私は他の瀬戸大橋はまだ見に行っていないが、この開通したばかりの生口島大橋は、その上を通るバスの大きさと比べてみてもデカさが分る。

＝そもそも＝

12月30日の夜9時に舟に乗り込み、

翌朝4時に目を覚まして5時に港を出港。一路瀬戸田町の垂水港へと向かった。

30日の夜は、シェラフを2枚重ねにして毛糸を着こんで寝ても、明け方4時には寒くて目が覚めてしまった。

おかげで予定時間どおり出港できた。

31日は、天気が良く、青空にポツポツと白い雲が浮んでいた。瀬戸田町には夕刻4時前に着き、島の人の好意でバンに乗せてもらい耕三寺に行く。

耕三寺は大人一人800円。朱に塗られた数々の建物を回って、最後に地下道を抜けて植物園に入った。ここは耕三寺の境内と違って手入れがあまり行き届いていない。

サボテンは伸ばし放題で、温室の屋根をつき破って空へと伸びている。おそらく面倒をみる人がいなくなったのであろう。サボテンの伸び具合からして、数年は放っているような感じであった。

瀬戸田町商店街は車が一台通るほどの大ききで、瀬戸田港まで続いており、通路の上には旗がひらめいて華やかな感じをかもしだしていた。

＝焼酎＝

浅橋のすぐ近くの小料理屋が31日だというのに開いていた。夫婦二人で子供もいないから、やってるんですよ。正月元旦もやってますという奥さんの話であった。酢ガキ、なまこ、砂ズリなど出してもらい、焼酎のお湯割りを2杯飲んでタクシーを呼んでもらい舟まで帰った。

酔ったせいかな、そのまま寝て、目が覚めたら夜の9時。今度は本格的に寝ようとシュラフに入ってやがて目が覚めた。いよいよ正月元旦の朝だと思いきや、まだ12時である。とりあえず、大晦日。除夜の鐘が遠くで鳴っているのを聞きながら、ビールで乾杯してまた寝てしまった。

＝元旦＝

元旦の朝は暖かく、30日から31日にかけての寒さとはまるで違い、穏やかな感じであったが、なるほど外に出てみると曇っており放射冷却がなかったために暖かかったのであろう。

生口島のマリーナを見ようと南下して行くと、目当てのマリーナはなく、次のマリーナに入ってみたところ、ヨットが一杯あとはレジャーボートが十数杯とまっているだけであった。

連れの舟のところまで帰ろうかと思ったが、このまま生口島大橋の下を通過して因島大橋を抜け尾道のマリンパークへと向かうことにして無線で連絡を取り合った。そして今いよいよ生口島大橋の真下を通り抜けようとしている。橋の上には通行客が2人、下を眺めて景色を楽しんでいるようである。

＝島＝

因島大橋が見えてきた。因島の周辺の海は非常に水深が浅く4～5mというところもあってドキッとさせられる。ところどころには、のりを探るための筏が浮いている。島々の斜面はこれ以上急だったら土砂が流れて畑にできないだろうというぐらいに急なところに実にこまめに畑が作ってある。その斜面にはところどころに砂が流れた跡も見えている。

島々にはそれぞれ民家が散在し、船着き場があちこちに見える。廃屋もところどころに見え、島全体に人が少なくなってきたのをうかがわせる。

そう言えば夕べの小料理屋での話、瀬戸田町には女性が少なく独身男性が多くてその店にもよく集まるそうである。いい人を紹介してくれと、その夫婦はよく頼まれるそうであるが、昔なら造船の仕事についている人などに嫁に行くという

話もあったが、今は一度造船不況を経験したためか女性はそういう職についている人のところに嫁にいきたがらなくなったということであった。

因島大橋は典型的な釣り橋でその優美な姿は、海の上から見るとまた格別なものがある。

ートラブルー

無線が入ってきた。一緒に来たもう一人の舟のエンジンのアクセルワイヤが切れて航行不能になった、という連絡である。たずねてみると何とか手でワイヤを引っ張りながらマリーナまでは行くということであるが、やはりいろんなトラブルが起るものである。

我が舟も先ほど舟底に物があたったような気がして、ちょっとドキッとした。もしロープのようなものでもプロペラに巻きついたりしたら、大晦日にニュースを騒がせたヨットの転覆でなことになるとも限らないからである。この辺りの海はいろんなごみが浮遊しており、その中のビニールのようなものが巻きつく可能性は十分ある。

漁船が見えないのは少し不安であるが我々はもうすぐ因島大橋の下を通り抜けようとしている。

＝境ヶ浜マリパーク＝

島を右に回っていくと白い大きな船のようなものが見えてきた。あれが目的地のマリパークであろう。風がなくなりセールを下ろして機走で近づく。

白い鋼鉄製の舟を右に回りこむとそこには大きな帆船が係留されていた。こちらからでは入れないため、左側に回り直して入港するとそこには大小様々のクルーザーとヨットが係留されていた。

空いているところに舟をとめ、艇内の片付けをした後、上陸して係留してある船を見て回ると、そこに一艇木製のヨットが係留してあった。その造りや備品の優美さは何ととっても魅力的なものであった。

＝ロマンチック＝

白い大きな船と思えたものは水族館になっている浮き桟橋のようなものでこれをマリパークの目玉にしているようであった。名付けてフローティングアイランドのこと。

マリパークの夜の照明はまた格別である。4本のレーザー光線が天に向かって伸び、中空の一点で交わっている。その光景は大型帆船に取り付けられた電球の放つ光と相まって素晴らしい夜景を作

り出している。彼女と来れば何とロマンチックな夜を楽しめたことであろうか。大酒飲みと一緒にではねえー。

＝舟＝

元旦の毎日新聞の特集号には今年1月から予選が始まり、5月に最終戦の行なわれるアメリカカップのヨットレースの記事が載っていた。

24 mクラスの日本号を出艇させるのに60億円の費用と4年の歳月がかかっているということであった。ニュージーランドでは10人に1人が船を持ち、3人に1人が1年に1回クルージングを楽しむという。それほどの日本ではないがこのマリナーパークにも多くのレジャーボートが係留しており、船に興味のあるものにとっては歩くだけで半日を過ごすことができる。

＝愛媛県菊間港＝

2日、我々はマリナーパークを後にして一路帰路へとついた。途中で私は気が変わり、大久野島の国民宿舎前の港に係留するのをやめて、あわよくば松山港に行って温泉に入ろうと考えた。だが悲しいかな、船の速度は5ノットどまり、夕暮れが近づきあわてて左に舵をきって菊間港に入港した。

最初着けた岸壁は満潮時であったが、水深35 m。このあたりの干潮の差が25 mあると予想されるのでここは係留に適さない。港を捜し回って大型船の係留してある横に係留することにした。

そこは水深5 m。OKである。

この菊間港に豪華なクルーザーがとまっていた。晩ごはんを食べに入ったお好み焼き屋で聞いた話であるが、7億円の建造費がかかったそうである。名前は持ち主の奥さんの名前が付けてある。そしてその持ち主は家を6億円で新築したそうである。何と、私の住む片田舎にも似たこの小さな町で、これだけの船と家を持つて人がいたのかと、感心してしまった。

＝7億円＝

カラオケスタンドで歌をうたったの帰り、その艇のそばに寄ってみると、一番上の船室は豪華な応接室になっており、鉢植が数箇配置され、ガラスのテーブルの上にはブーケが置かれ、シャンパングラスなどのグラス類が整然と並べてあった。そして階下の丸窓を覗き見ると、そこはじゅうたんを敷きつめた豪華な寝室となっており、ダブルベッド、鏡台がしつらえてあった。その調度品といい、照明といい、船の造りといい、7億円はう

なずけるものであった。

金を西日光耕三寺のようにお寺を造ることに費やすか、クルーザを造ることに費やすか、財団法人を創って何かを成すことに費やすか、人それぞれである。

夜中に風が強くなってきて、船が岸壁との間でせめぎあいを始めた。そのものすごい音に目をさまされ、フェンダーの位置を調整するために何度となく艇の外に出た。翌朝起きてみるとこの作業がなければ船は傷だらけになっていたことがわかった。

＝一路母港へ＝

この日は前日までと打って変わって風が強い。西の風である。母港へは方位270度。すなわち真西の方向へ進まなければならない。風は西風であるから、帆走するためには当然舟は風上に向かって一定の角度をとって進まなければならない。ジブとメインのセールを上げてヒールしながら舟は時速5ノットから6ノットで進む。

前日の7億円クルーザーの話に酔った

ためか今日は二人共食欲がなく、雨具を着たままコックピットに座って交互に操縦をした。

やっと柱島に近づき、あと2時間というときになって、風がおちてきた。しかたなく、機走に切り換え、港へと向かっているとまた風が強くなってきた。海に出ていると天候の変わり方が激しいのに気がつく。

西の風が吹いていたかと思うと、ぼったりとやんでしまい次には北の風が吹いてくる。そしてまた西の風が吹く。あるいはやんでしまう。そして風の強さもいろいろに変化する。風まかせに進んでいると、この天候の変化に対応するため度々セールを上げたり、下ろしたり、帆走する方向を調節したりしなければならない。

四日間の船旅は日常の世果とは全く別の世界を提供してくれた。海と島と橋を見ながら過ごした四日間であった。いよいよ港が真近になってきた。

上陸して1992年が始まる。

支部対抗ボーリング大会開催について

平成3年度厚生部事業の一環として、下記要領で支部対抗ボーリング大会を開催いたします。ご多忙のところお手数をおかけしますが各支部からの参加についてご心配下さるようお願い申し上げます。

参加費用など細部未定の点は後日連絡いたします。

記

- 日時 平成4年2月15日(土)
13:30～15:00
- 場所 小郡町上郷、小郡スーパーボウル
- 参加 各支部から5名、1チーム

(2チーム10名でも可。)
補助者参加可。

- ゲーム 団体戦・個人戦。
2ゲームTOTALで計算
- ボーリング大会終了後、15:00から17:00まで。表彰式及び懇親会。場所未定。
- 各支部からの参加者を1月末日までに別添はがきにて事務局宛ご報告下さい。

以上

事務局だより

会員移動状況

1 会員入脱会状況

支部	氏名	年月日	入脱会
宇部	中野 久雄	3.9.2	入会
岩国	美島 修	3.7.9	死亡
徳山	栢原 樹男	3.7.27	〃
萩	吉広 正明	3.8.3	〃
徳山	西村 寛一	3.9.30	脱会
萩	吉田 美男	〃	〃
徳山	中村 光長	3.10.30	〃
宇部	兼清 遵寿	3.12.9	死亡

2 事務所変更他

支部	氏名	変更理由	年月日
徳山	三浦 隆	事務所変更	3.8.16
		都濃郡鹿野町大字鹿野上 2931の7	

宇部	板垣 昭平	住所変更	59.11.19
		宇部市恩田町3丁目5-8-2	
徳山	吉成二郎	住所・事務所変更	52.12.25
		徳山市桜木1丁目1-38	
防府	友景 稔	住所変更	58.4.2
		防府市寿町2-18	
宇部	日高昭一郎	住所変更	3.9.4
		厚狭郡山陽町大字厚狭 352の2	
山口	藤原 淑雄	事務所変更	3.9.30
		山口市大字吉敷 3191の4	
岩国	平井 敏生	住所変更	3.9.25
		大島郡久賀町大字久賀 4045の11	
	平井 敏生	事務所変更	3.9.25
		大島郡大島町大字小松 1174	
防府	嶋津 郁夫	事務所変更	3.10.20
		防府市今市町 16番 30号	
〃	福原 嘉幸	事務所変更	3.11.11
		山口市大字黒川 3329の1	

会 務 報 告

- 8月6日(内) 総務広報部会
 * * 経理厚生 *
- 7日(内) } 中B会長会、監査会
 8日(内) }
- 10日(出) 企画委員会
 25日(内) 司調其他曲藝大会
- 9月3日(内) 総務部会
 13日(出) } 自主支部長会議
 14日(出) }
- 19日(内) } 中国ブロック協議会総会
 20日(出) }
- 10月1日(内) } 証紙等点検調査
 11日(出) }
- 5日(出) 理事会
 16日(出) } 全国企画担当若会議
 17日(内) }
- 23日(出) 報酬額改訂臨時総会
 * * 法司議三者協議会
- 27日(出) } 全国会長会
 28日(出) }
- 29日(内) } 企画部会
 30日(内) }

- 11月5日(内) 広報部会
 6日(内) 監査会
 7日(内) 中B会長会
 10日(出) 中B企画部会
 12日(内) 厚生部会
 20日(内) 綱紀委員会
 26日(内) 会館運営委員会
 29日(出) 報酬額改訂研修会(萩会場)
 30日(出) " (徳山会場)
 12月1日(出) " (山口会場)
 8日(出) " (")
 19日(内) 平成3年度土地家屋調査士
 試験合格証書授与式
 25日(内) 企画部会
 26日(内) 広報部会

行 事 予 定

- 1月7日(内) 三者協議会
 27日(出) } 理事会、支部長会合同会議
 28日(内) }
- 2月19日又は20日 登記部門・賦用曲調・
 企画部の協議会
 2月22～23日 企画部と支部企画委員会
 会議

計 報

謹んでご冥福をお祈りします



葬 儀 通 告

平成三年十二月九日逝去

享年 四十九才

昭和五十年三月十三日入会

役職歴 本部理事 三期

支部長 一期

表彰歴 山口地方警察局長表

彰 中国ブロック協議会

長表彰

目 次

新年あいさつ	局長	2
	会長	3
	副会長	4
臨時総会終る		6
証紙粘付状況結果報告		7
調査士試験合格者名簿		8
公嘆協会だより		8
中国ブロック協議会総会		9
企画部・支部企画委員会		10
報酬改訂について		12
法務局からの協力依頼について		
支部長会開催される		13
支部だより	防府	14
	徳山	15
	若国	16
	萩・宇部	17
「釜山の楽しみ方」		18
「抜け殻か」		19～21
「原子力発電所心臓部へ突入」		22
「正月ヒゲモジ+紀行」		23～27
支部対抗ボウリング大会開催について		28
事務局だより		28

発 行 山口県土地家屋調査士会
 山口市駅通り2丁目9番15号
 電 話 (0839) 22-5975
 F A X (0839) 25-8552
 営 業 下 関 9-11085

発行者 山口県土地家屋調査士会
 会 長 新本 清人
 広報担当副会長 兼川 良介
 広報部長 八木 晋郎
 部 員 河村 誠一
 * 片山修一郎
 * 郷家 徹

印刷所 桜プリント企業組合
 山口市旭通り1-6
 電 話 (0839) 22-1712

表紙のことは 須佐大橋

一般国道315号線は、徳山市を基点とし、阿東町で国道9号線と交錯しながら中国山地を横断し須佐町に至る延長92kmの險峻を結ぶ主要国道である。全山谷以北は急勾配の山間部であり交通の難所であったが、この須佐大橋を初め各所にトンネルを配し、平成3年3月に開通し、県の内陸部の地域活性化に大きく貢献している。

須佐大橋の全長 313 m
 アーチ支間 190 m
 橋梁形式 逆ローゼ橋

